

# みちのく森の楽校だより

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



キバナアキギリ



シラヤマギク

2019年 **9月号**

9月21日（土）晴れ、すっかり秋です。

## お花炭づくり！ 焼きスギプレートづくり！

里山はすっかり秋の気配！アキアカネが飛び、道には栗の実が落ちていました。焚火が恋しい季節の到来！今日は焚火を使った活動です。木の実を使ってお花炭、スギ板を焼いてプレートづくりです。

### 材料拾い！

お花炭は、里山のいろいろな材料を使います。今時分、道に落ちているのは、栗のイガやいろいろなドングリ。特に、入り口園路の斜面には、栗が沢山！拾いながら、森の楽校へ行きました。



### お釜で混ぜご飯！

今日は、大きなお釜でご飯を炊きました。いつもの通り、薪を使います。その量は、なんと、2升です。これに里山のナメコ汁と野菜各種。食欲の秋！これがすっかりなくなりました。



### お花炭づくり！

ドラム缶を使って、大きな焚火をしました。お花炭の材料は、大きな空き缶にいろいろな材料を入れました。松ぼっくり、割った竹など。空き缶に穴をあけ、番線でくくって、焚火に入れます。しばらくすると、穴から煙が出てきます。これは炭化が進んでいる状態。煙が出なくなったら出来上がりです。



### 焼きスギプレートづくり！

焚火を使った、里山の工作として、焼きスギプレートづくりをしました。スギ板を好きな大きさに切って、焚火の中に入れて表面をしっかりと焼きます。火から出して、焼けた部分を削って、表面を磨いて、あとは文字やイラストを書いて、オリジナルプレートの完成！

